



## サモア独立国

Independent State of Samoa

2008年1月現在



### 一般事情

- 1.面積 2,840平方キロメートル(鳥取県よりやや小さい。世銀)
- 2.人口 18.5万人(2006年 太平洋共同体事務局)
- 3.首都 アピア(3.2万人、1986年国勢調査)
- 4.民族 サモア人(ポリネシア系)90%、  
その他(欧州系混血、メラネシア系、中国系、欧州系等)
- 5.言語 サモア語、英語(共に公用語)
- 6.宗教 100%キリスト教で、  
カトリック、メソジスト、モルモン教等の各派が布教。
- 8.通貨 サモア・タラ(Samoan Tala)  
為替レート 1タラ = 約43円(2007年5月現在)  
補助通貨単位 100セネ = SENE
- 9.査証(ビザ)
- 10.在留邦人数 105名(2007年9月)
- 11.在日当該国人数 62名(2005年末)(「出入国管理統計年報」法務省)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 - 国際通話コード -
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)  
税率 - %  
製造数量 - (百万本/年)  
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

### 15.略史

年月	略史
1722年	オランダ人探険家Roggeveenが視認
1768年	仏人航海者Bougainvilleが上陸
1860年代~	アピアが捕鯨船補給港として繁栄、独、英、米、が勢力
1899年	独が西サモア(現在のサモア独立国)、 米が東サモア(現在の米領サモア)を領有
1919年	NZの国際連盟委任統治地域
1945年	国際連合信託統治地域
1962年	独立(1月1日、但し独立記念日は6月1日)
1997年	国名をそれまでの「西サモア」から「サモア独立国」に変

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館 なし

### 政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主国家
- 2.元首 トウイアトゥア・トゥプア・タマセセ・エフィ殿下 (His Highness Tuiatua Tupua Tam  
(任期2012年6月まで)
- 3.議会 一院制、49議席、任期は5年
- 4.政府 (1)首相 トウイラエバ・サイレレ・マリエレガオイ (Tuilaepa Sailele Malielegaoi  
(1998年11月就任)  
(2)外相 首相が兼任
- 5.内政 (1)1988年以来首相を務めていたトフィラウ首相は1998年11月に病気を理由  
(2)2001年3月の総選挙では、与党の人権擁護党(HRPP)が無所属議員5名  
(3)2007年5月前元首の逝去にともない、6月15日サモア議会はトウイアトゥア

### 外交・国防

- 1.外交基本方針 NZ及び豪との緊密な関係維持、南太平洋地域諸国との協力関係重視、国連
- 2.軍事力 軍隊なし。NZとの友好条約に基づき、有事の際はNZが支援する。

経済

- 1.主要産業 農業、沿岸漁業
- 2.実質GDP 356.4百万米ドル(2006年、サモア中銀)
- 3.一人当りGDP 2,015米ドル(2006年、サモア財務省)
- 4.実質経済成長率

2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
4.40%	1.80%	2.80%	5.60%	1.90%

(サモア中銀)

- 5.物価上昇率 3.2%(2006年、サモア財務省)
- 6.総貿易額
  - (1)輸出 10.6百万米ドル(2006年、サモア財務省)
  - (2)輸入 196.5百万米ドル(2006年、サモア財務省)
- 7.貿易品目
  - (1)輸出 魚介類、ノニ製品、ビール、ココナツクリーム
  - (2)輸入 食料品・動物、機械・輸送機器、製造品(2005年、サモア中央銀行)
- 8.貿易相手国
  - (1)輸出 米領サモア(40%)、米(36%)、NZ(10%)、豪州(6%)
  - (2)輸入 NZ(32%)、豪(26%)、米(15%)(2005年、サモア中央銀行)
- 9.通貨 サモア・タラ(Samoan Tala)
- 10.為替レート 1タラ = 約43円(2007年5月現在)
- 11.経済概況

2004年に上陸したサイクロン被害からの復興や、2007年に開催されるサウスパシフィック  
 一方、国内市場が小規模であり、消費財の多くを輸入に頼らざるを得ないという島嶼国  
 海外からの送金、観光業収入によるサービス・移転収支の大幅な黒字により、経常赤字

経済協力

- 1.日本の援助実績
 

	2005年度	2005年度までの累計
(1)有償資金協力	なし	
(2)無償資金協力	16.61億円	228.40億円
(3)技術協力	4.20億円	96.36億円
- 2.主要援助国
  - (百万米ドル、2004年、DACベース)
  - (1)豪(12.7)、(2)NZ(5.9)、(3)日本(4.6)、(4)米(1.3)、二国間ODA計 24.6

二国間関係

- 1.政治関係
  - (1)1980年6月8日、在京西サモア(1997年からサモアに国名変更)名誉総領事館を開設、2007年1月より閉館。
  - (2)1997年2月1日、在アピア名誉総領事を任命。
  - (3)2007年5月、故マリエトア・タヌマフィリ2世の国葬参加のため、浜田特派員を派遣。
- 2.経済関係
  - (1)(2006年、サモア中銀)
    - (イ)対日貿易額
      - 日本から輸入 20.4百万米ドル
      - 日本へ輸出 0.33百万米ドル
    - (ロ)主要品目
      - 日本から輸入 電気機器、プラスチック製品、魚類
      - 日本へ輸出 ジュース、肉類、衣類
  - (2)日本からの直接投資
    - 15件 80億円(平成元年～18年度累計、財務省対外直接投資統計)
    - 教育振興計画、移動図書館車、スポーツ用器材等、無償資金協力を実施。
- 3.文化関係
- 4.在留邦人数 105名(2007年9月)
- 5.在日サモア人数 62名(2005年末)(「出入国管理統計年報」財務省)
- 6.要人往来

(1)往(1985年以降)

年月	要人名
1985年	平沼、月原両衆議院議員
1989年	降矢、中山、谷議員(APPU)

1996年	小平農林水産政務次官(APO)
1996年	長谷川元駐豪大使(友好ミッション)
1998年	堀元フィジー大使(政策対話ミッション)
2003年	秋篠宮同妃両殿下
2004年	阿部外務副大臣(PIF域外国対話)
2007年	浜田特派大使(外務大臣政務官) (故マリエトア・タヌマフィリ2世前元首の国葬参加)

(2) 来(1980年以降)

年月	要人名
1980年	トゥプオラ・エフィ首相(外務省賓客)
1984年	トゥイラエバ・サイレレ蔵相
1985年	トゥイラエバ蔵相(万博賓客)
1985年	トフィラウ・エティ・アレサナ首相(外務省賓客)
1986年	ピタ経済開発相
1987年	ヴァアイ・コロネ首相(外務省賓客)
1988年	トゥイラエバ蔵相
1989年	タヌマフィリ二世、パトゥ教育相(大喪の礼)
1990年	トフィラウ首相、トゥイラエバ蔵相、タヌヴァサ経済相(花 タヌマフィリ二世、タヌヴァサ経済相(即位の礼))
1992年	トフィラウ首相、ネッラー運輸相
1993年	トフィラウ首相
1994年	トフィラウ首相、ネッラー運輸相、トゥイラエバ副首相兼
1997年	トゥイラエバ副首相兼蔵相(ADB会議)(日・SPF首脳会 マタアファ教育大臣、タガロア国土計画環境大臣)
2000年	タガロア国土計画環境大臣、トゥイラエバ首相(第2回フ
2003年	トゥイラエバ首相(第3回太平洋・島サミット)
2005年	トゥイラエバ首相(外務省賓客)、カイル観光大臣(博覧
2006年	トゥイラエバ首相(第4回太平洋・島サミット)
2007年12月	アヴェアウ建設・運輸・インフラ大臣 (第1回アジア・太平洋水サミット(於:大分))

7. 二国間条約・取極

青年海外協力隊派遣取極(1971年)

8. 外交使節

(1) 駐サモア日本国大使

斎藤正樹駐ニュージーランド特命全権大使が兼任。  
尚、トゥプア・フレデリック・ウェツェル氏が、  
1997年から在アピア名誉総領事を務める。

(2) 駐日サモア大使

任命されていない。



コンセント・タイプ

を競う
変更

imasese Efi)

i)

に辞任を表明、後継  
を取り込んで過半数  
・トゥプア・タマセセ・

連活動への貢献。

銀)

;) )

ックゲームに向けて  
に典型的な経済構造  
はさほど大きな

事館開設。

大使(外務大臣政務

計)




花博賓客)


藏相(国際防災会議)  
:議)、

太平洋・島サミット)

会賓客)
